鳥取新報

第303号　令和8年11月版

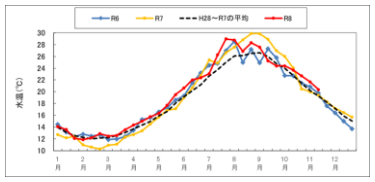
掲載期間　R8.11月下旬
～R8.12月中旬

発行　鳥取県水産試験場（電話：0859-45-4500）

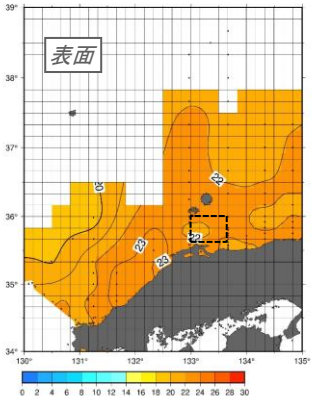
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター　沈砂槽
（電話：0858-34-3321）

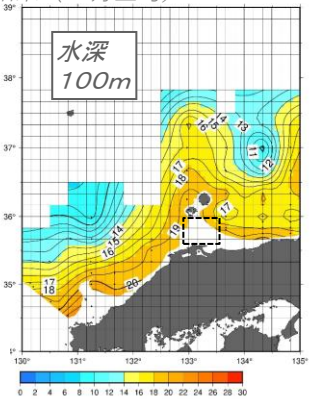
11月中旬　20.4 ℃
平年より　1.1℃高め



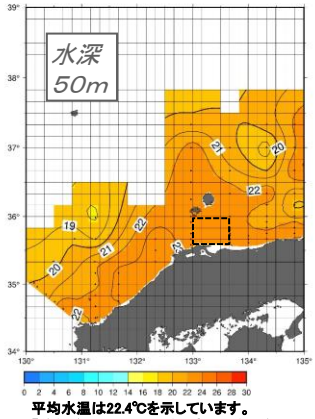
試験船による海洋観測結果（11月上旬）



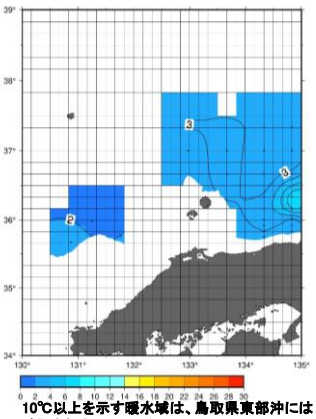
隠岐海峡と鳥取県沖（点線範囲内）の平均水温は22.1℃ を示しています。
【前年差：+1.53℃、平年（直近30年）差：+1.07℃】



平均水温は17.5℃を示しています。
【前年差：+4.50℃、平年（直近30年）差：+0.41℃】

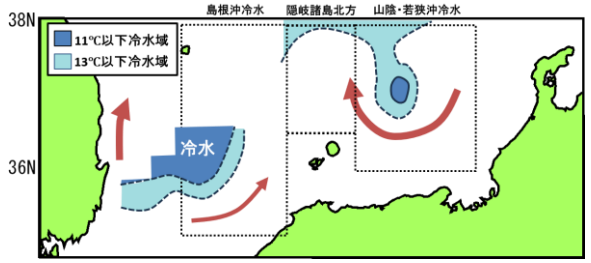


平均水温は22.4℃を示しています。
【前年差：+1.96℃、平年（直近30年）差：+1.51℃】



10℃以上を示す暖水域は、鳥取県東部沖には確認されませんでした。

11月上旬の水塊配置と対馬暖流



島根沖冷水域	13℃以下の冷水域は、N35°30‘以北に認められ、平年（直近10年）並みの位置でした。
隠岐諸島北方の冷水域	13℃以下の冷水域は、N37°20’以北に認められました。
山陰・若狭沖冷水域	13℃以下の冷水域は、N36°40‘以北に認められ、平年並みの位置でした。
対馬暖流の流路	主流の一部は、島根沖冷水域に沿って流れ、島根半島から隠岐諸島西側にかけて北東に向かい流れると考えられます。 山陰・若狭沖冷水域は平年並みの位置であり、冷水域に沿って反時計周りの流れが卓越していると考えられます。

水産振興課・漁業調整課

魚の捌き方講習会を実施しました（鳥取県漁業士会）

10月28日(水)に鳥取短期大学にて、食物栄養専攻の学生45名を対象とした漁業士会主催の魚の捌き方講習会を開催しました。

当日は、アジを三枚におろし、お刺身とあら汁の調理に取り組みました。学生たちは、魚の調理に悪戦苦闘していましたが、遠藤会長や県漁協職員の指導もあり、なんとか完成させていました。

慣れないお刺身料理のため、小さなお刺身も見られましたが、学生は「とってもおいしい」と満足の様子でした。中には「自分で魚を買って、自宅でリベンジしたい」と話す学生もいました。

今後も、魚食普及のための取り組みを積極的に行っていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。





水産試験場

令和8年度第1回境港地区漁海況連絡会議の開催のお知らせ

今年も水産試験場が主催する「境港地区漁海況連絡会議」を下記のとおり開催します。

事前申込不要ですので、興味のある方は、是非ご参加ください。

開催日時：12月18日（金）　午後1時半から3時まで
開催場所：県営境港水産物地方卸売市場2号上屋
　　2階大研修室（境港市昭和町9－7）

議題
（1）海洋環境の見通しについて・・・水産試験場　足立研究員
　海洋環境、スルメイカについて

（2）浮魚類の見通しについて
　マアジ、マサバ、マイワシ・・・水産試験場　野澤研究員
　ブリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・水産試験場　野々村室長

（3）底魚類の見通しについて・・・水産試験場　藤原主任研究員
　ズワイガニ、沖合底びきのその他主要魚種について

栽培漁業センター

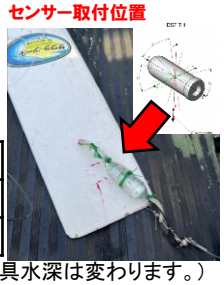
サワラ潜行板の動きを「見える化」！

サワラ潜行板（サワラツール）に小型センサーを取り付け、曳いている間の漁具の水深や姿勢の変化を調べています。

【👉結果の概要】
- 向かい潮では順潮より1．2m深く潜った。
- 左右方向の振れはどちらの潮向きでもほとんど変わらなかった。

道糸長：70m
曳航速度：4．6ノット

センサー取付位置



潮向き	漁具水深	左右の振れ角度
順潮	16．5m	48度
向かい潮	17．7m	48度

（注：道糸（カツオコード）のビシの量と重さにより漁具水深は変わります。）

【今後の調査について】
- 今後は、サンマを餌にしたビショマ漁具の動きも調査し、漁具の水中での動きが魚の誘引にどのように関係するのかを検証します。調査結果は、あらためて皆様にご紹介します。

令和8年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本　　社　山口県下関市小月小島2丁目3-17　〒750-1136
電話 083-282-4041（代表）FAX 083-282-0424
境港営業所　鳥取県境港市栄町92番地1〒684-0006　電話 0859-44-0475　FAX 0859-42-6330

